

保護者の皆様へ

令和4年9月15日(木)
学校法人成田学園
幼保連携型認定こども園
希望ヶ丘こども園
園長 相楽 悦子

園バス運行の安全管理について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より希望ヶ丘こども園の教育保育活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、ニュースなどでご存じの通り、静岡県の幼稚園バスで3歳女児を5時間置き去りにし、亡くなってしまったという悲しい事故が起きました。本日の新聞でも、園児取り違え引き渡しミスなどの報道がありました。(本園ではございませんのでご安心ください。)

希望ヶ丘こども園では、このような悲しい事故等が絶対にならないように、添乗職員と運転手とのダブルチェックで安全・安心な運行に努めております。もちろん登園後も担任の登園確認もしっかりと行っております。9時に登園されず、欠席連絡がないお子様には、保護者の皆様への確認の電話連絡を行っていますので、保護者の皆様にはキッズビューでの欠席連絡を忘れずをお願いいたします。

HPでバスの消毒作業などについての様子も写真つきでアップしておりますので、こちらもご覧ください。

お子様に安心して園バスに乗車して頂くため、希望ヶ丘こども園バス運行マニュアルを作成しています。その一部をお知らせします。

バスの運転手は、毎朝始業点検として酒気帯びチェックを行い、園長から確認を受けています。その後バスの内外の点検をして、消毒・換気を行っています。

運転前には欠席園児の確認を行い本日のルートを運転手と添乗員とで確認しています。特にバックするときは、添乗員の誘導と共に運転手の細心の注意で、ミラーやバックモニター、目視で安全を確認しています。いつも心にゆとりを持って冷静な運転に心がけています。

バス添乗員は、アイパットのタッチビューを見て、欠席・直接園に送るお子さんを確認しバス日報に記入しています。アイパットだけではなく紙での日報を作成して、一人一人のお子さんをしっかり確認しています。バスの運転手に欠席園児を伝えバスルートの確認を行います。バックをするときは、バス内の後ろに行き、安全を確認しながら運転手にオーライの合図をします。

停留所に着いたら左右確認をしてバスを降り、保護者と子ども達に挨拶をして、子どもの手を取り支えバスに乗せます。子どもをしっかりと着席させ小型バスではシートベルトを付けます。(大型バスは園児用バスのため構造上シートベルトはついておりませんが、安全な座席間隔となっております。) 運転手に「お願いします」と伝え出発しています。日報に園児が乗った印をつけます。定刻になっても乗車場所におられない保護者には、電話をかけた確認しています。

園に到着後は手を添えて全員の子ども達をおろし、バスの後部まで確認します。座席の下に寝ている園児がないか、荷物が落ちていないかも運転手と共にダブルチェックで確認しています。園児と共に玄関まで行き、子ども達を確認し、各保育室に入るまで見守りま
す。泣いている子どもは保育室まで手を引いて送っています。その後バスに戻り運転手と
一緒に最終確認と消毒清掃を行っています。(全てダブルチェックを行っています。)

日報の記入と引継ぎをしっかりと行い、担任に報告事項があれば報告します。
バスでの新型コロナ対策も行っております。車内消毒・乗車前の園児の検温・消毒、車内の換気(運行中窓を2か所開けます。)乗車中もマスクを着用しています。

また、バスには座席表があり指定の座席に子ども達は座り、手つなぎペアも決めて移動しています。

以上のように、希望ヶ丘こども園では、安全管理マニュアルの中にバス運行についてのマニュアルを作成し、開園以来無事故で安全に運行しております。これからも安全に運行して参りますので安心して園バスをご利用くださいますようお願いいたします。

バスだけではなく、何かご心配なことがある時はご遠慮なく主幹・副主幹までご連絡ください。今後とも希望ヶ丘こども園の教育・保育にご理解とご協力をお願いいたします。

